

令和5年度 事業報告

I 事業概要

新型コロナウイルス感染症は3年を超え、社会活動や経済活動に大きな影響を与え、シルバー人材センターにおいても、会員の確保や就業機会の確保をはじめ、困難な運営を余儀なくされたところでもあります。

当センターの事業運営においては、一般家庭からの契約金額の減少など大変厳しい年となり、就業機会の確保にあたってより一層きめ細かな対応を心掛けて取り組みましたが、請負事業では、延日人員93.4%、契約金額95.4%と前年を下回りました。

また、労働者派遣事業においても、延日人員51.1%、契約金額59.1%となり、大きく下回り、請負・派遣事業合計429万円減、90.4%で終えることとなり、大変厳しい結果となっております。

重要課題であります新規入会者の獲得については、役職員、会員による「ロコミ」運動の継続や広報誌への掲載、折込チラシの配布などで会員募集活動を積極的に行い、12名の入会を得ることができました。一方、令和5年度は3名の方が亡くなり、本人の病気や加齢、転居等で計15名が退会し、正会員数は3名減の結果となりました。

日ごろより、シルバー人材センター事業の推進に深いご理解とご支援をいただいております新ひだか町をはじめ、賛助会員、関係機関、各事業所並びに一般家庭の皆様にご深く感謝申し上げます。

〈事業実績概要〉

項目		5年度実績	4年度実績	前年比%
登録会員数		151	154	98.1
受注件数	請負等	655	624	105.0
	派遣	11	13	84.6
	計	666	637	104.6
延日人員	請負等	9,001	9,633	93.4
	派遣	487	953	51.1
	計	9,488	10,586	89.6
契約金額	請負等	36,642,216	38,426,043	95.4
	派遣	3,628,453	6,141,041	59.1
	計	40,270,669	44,567,084	90.4

II 事業実施状況

(1) 普及啓発と就業機会の拡大

- ①ホームページでの情報公開に努め、事業のPRを兼ね、必要な情報を掲載しました。

②広報誌を年2回発行して、関係機関、賛助会員、企業等への配布、配置を通して、普及啓発と情報の発信に努めました

③普及啓発と会員募集を兼ねたチラシを新聞折込みにて配布し、普及啓発と就業機会の拡大を図りました。

④普及啓発促進月間中に公共施設において幟旗を掲示して清掃等のボランティア活動を実施し、普及啓発に努めました。

⑤就業現場の安全パトロールと共に発注者訪問を行い、就業機会の拡大を図りました。

(2) 会員の入会促進

①センター広報誌やパンフレットをハローワーク窓口や関係各所に配置して入会促進を図りました。

②会員募集に特化したチラシを作成し、新聞折込みによる配布を通して入会促進に努めました。

③事務所前に「会員募集中」幟旗を掲示し希望する方には随時説明会を行い、新規入会獲得に努めました。

④役職員、会員による「ロコミ運動」の継続を通して会員拡大を目指しました。

(3) 安全就業の推進と事故防止

①安全委員会において、全国シルバーの重篤事件事例を検証し、安全就業の推進に役立てました。

②委員と推進員による安全パトロールを定期的に行い、就業場所の安全確認、適正な器具使用やヘルメット装着等安全対策の徹底を呼びかけた結果、賠償事故の発生を防ぐことが出来ました。

③団体保険と熱中症見舞保険に加入し万一の事故に備えました。

(4) 知識・技能・技術とマナーの向上

コロナウイルス感染症予防対策のため、講習会等を開催することが出来ませんでしたので、就業時に熟練会員からの技術指導を要請しました。また、発注者宅の訪問を通してマナーについての聞き取りを行い、就業時に役立てました。

(5) 派遣事業の実施と拡大

派遣事業の実施は、事業所への積極的な訪問活動もあり、継続契約を締結することが出来ましたが、新規の契約には至りませんでした。

(6) 事務局体制の強化

全国シルバー人材センター事業協会及び北海道シルバー人材センター連合会主催によるオンラインでの各種講習会、研修会に担当職員が参加し知識の習得に努めました。また、職員会議において情報の交換と各種の連携を図り、良好な職場環境づくりに努めました。

(7) 関係機関との連携

北海道及び新ひだか町、ハローワークしずないや全シ協、道シ連等との連携を密にし、円滑な事業運営に努めました。